

令和7年12月10日

No. 259

## 日立理科クラブ通信



## 日立理科クラブ

理数アカデミー 自由研究成果発表会&キャリア学習会

11月16日(日)、日立市教育プラザを会場にして行われた自由研究成果発表会＆キャリア学習会について紹介します。これは、2025年度の「自由研究コース」の受講生がそれぞれ取り組んだ自由研究11件の成果発表と、日立製作所名誉フェロー神原先生による基調講演が行われました。

研究発表者と研究内容は右図の通りです。

発表には、日立市教育研究会佐川理科教育研究部長、日立市教育委員会斎藤指導主事、後半の講演をされる神原先生、東京大学の堀先生も参加し、熱心に聞いてくださいました。

発表者は、この1年間あるいはそれ以上の期間研究してきたことを発表しました。研究テーマは、環境に関することや生物に関するここと、物理・化学に関することなど様々でした。実験道具としてマイクロピットやロボットを使った研究が多く登場してきたのは、ユニークでした。また、地層の破壊を皿の破壊で近似させる研究や家で飼っているインコを題材にした鳥の研究なども、とてもおもしろく注目を浴びていました。

発表後には質疑が行われました。受講生や保護者からの多くの、そして鋭い質問が寄せられ、それに対して発表者が自信を持って答えていたのが印象的でした。研究がしっかりと身に付いている、自分のものになっていると思いました。

自由研究発表のまとめとして、日立市教育委員会斎藤指導主事から講評がありました。伝えようとする力が素晴らしいこと、AINシュー タインの言葉「大切なのは、疑問をもち続けること」を受講生に贈ってくださいました。

後半のキャリア学習会では、日立製作所名誉フェロー神原秀記氏による「技術開発から学んだこと：皆さんへのメッセージ」の演題で講演がありました。神原先生は、遺伝子を解析する装置の開発など、生命科学の分野で貢献されてきました。小学校の頃は鉱石ラジオ、中学生の頃は剣道など、大学では炭酸ガスレーザーなどその時々に熱中して、経験したことが、研究につながってきたことをお話しくださいました。そして、あきらめずに成功するまでやめないと、全体を俯瞰することが大切とアドバイスをして、大きな励ましになったと思います。

講演後に、「これまでの自分とこれからの中」に関するグループ討論の時間も設けられましたが、神原先生に直接質問しようと、多くの受講生が先生の周りに集まり会話を楽しんでいました。

最後に、瀧澤代表理事から、自由研究のよさに触れながら、理科クラブとしても一生懸命に取り組み受講生をサポートしていく、と講評がありました。

一人一人が夢や希望に向かって努力しようとするのをサポートするいい機会だったと思います。

文責 日立理科クラブ 作間 忍 日立理科クラブ事務所 TEL/FAX 0294-24-3104